

## 日本木材学会バイオマス変換研究会 秋季講演会実施報告

今年度は平成 27 年 11 月 6 日（金）～11 月 7 日（土）に第 60 回リグニン討論会若手の会との共催行事として実施しました。6 日リグニン討論会終了後、バスにて会場である「いこいの郷 常総」に移動後、19 時より懇親会を行いました。翌 7 日に飛松裕基 准教授（京都大学）および大塚祐一郎 主任研究員（国立研究開発法人森林総合研究所）のお二方による最新のリグニン研究に関するご講演を頂き、活発な質疑応答が行われ盛況にて終了いたしました。

6 日（金）懇親会（19:00～21:00）

7 日（土）講演会

9:20 開会挨拶

9:25 リグニン形成のフレキシビリティとそれを活用したバイオマス利用

飛松裕基 准教授

（京都大学生存圏研究所 生存圏診断統御研究系・森林代謝機能化学研究分野）

10:05 休憩

10:10 リグニンからプラットフォームケミカルを生産する研究を通じて経験した異文化交流

大塚 祐一郎 主任研究員

（国立研究開発法人 森林総合研究所 バイオマス化学研究領域 樹木抽出成分研究室）

10:50 閉会挨拶



飛松先生御講演（名古屋大・青木先生撮影）



大塚先生御講演（北海道大・幸田先生撮影）

なお当日の会場の様子については、下記 URL にも掲載しております。

<http://www.agbi.tsukuba.ac.jp/~woodchem/60thligninSympo/wakate.html>